

○ アクションプラン

令和8年度 荻生小学校アクションプラン1	
重点項目	【徳】生徒指導 ーやさしくー
重点課題	好ましい人間関係を築く子供の育成
現 状	・計画委員会主催の「あいさつボランティア活動」や地域の方々と一緒に行う「さわやか挨拶運動」により、学校全体で挨拶をする意識が高まってきた。また、6年生が企画・運営する「スマイル集会」を通して、人権の大切さについて理解を深めることができた。しかし、相手意識が低く、挨拶が心に届かなかったり、望ましい言葉遣いができなかったりすることが課題と感じている。好ましい人間関係を築き、維持していくためにも家庭や地域と連携し、相手を意識した挨拶や言葉遣いの指導を充実していく必要がある。
達成目標	・相手を意識した挨拶や望ましい言葉遣いができる児童の割合を自己評価で85%以上を目指す。
方 策	◎生活アンケートや教育相談、情報交換等を定期的実施し、チームとして取り組む。 ・地域や家庭と連携しながら挨拶運動や人権集会等を行い、相手を意識した挨拶や「ぼかぼか言葉」の推進に取り組んでいく。 ・場所や相手に応じた言葉遣いができるように指導し、自己評価を行う。 ・挨拶やぼかぼか言葉の意義について考える機会をもち、目的意識をもって実践しているようにする。
令和8年度 荻生小学校アクションプラン2	
重点項目	【知】学力向上 ーかしこくー
重点課題	主体的に学び合う子供の育成
現 状	・子供たちが主体的に学び合うためには、まず、落ち着いた学習環境を整える必要がある。昨年度は、「学習の約束」の中から、学習規律の面で達成目標を設定し、「授業が始まる前に、席に着いた」「相手を見て、静かに話が聞けた」の2項目で児童の自己評価を行った。しかし、学年や項目、個人によって数値にばらつきがあり、児童への個に応じた支援や指導が必要である。
達成目標	・「相手を見て静かに話を聞く」「家で学習する（10分×学年）習慣を身に付ける」の2項目を守ることができる児童の割合を自己評価で85%以上を目指す。
方 策	◎全校共通の「学習の約束」を活用し、学習規律をさらに意識付け、学校と家庭が協働し、家庭学習の定着を図るようにする。 ・自己評価する週間を学期に1回設定し、自身の取組を見直す機会を設ける。
令和8年度 荻生小学校アクションプラン3	
重点項目	【体】健康・安全の指導 ーたくましくー
重点課題	進んで体力づくりに取り組む子供の育成
現 状	・昨年度は、各家庭でメディア視聴のルールを設定し、メディアコントロールの必要性を意識付けることができた。しかし、家庭の協力を頼る部分が多く、メディアコントロールの実践には課題が見られた。そこで今年度は、学校生活の中で運動を推奨し、その結果として体を使うことで就寝時刻を早めたり、放課後の遊びの幅を広げたりして、メディアと関わる時間を減らすことを考えていく。実践を通して、自身の体力づくりの大切さを意識させていきたい。
達成目標	・休み時間に体を使った遊びや運動に取り組む児童の割合を自己評価で85%以上を目指す。
方 策	◎休み時間の過ごし方を見直し、進んで体力づくりに取り組むことができるようにする ・わんぱくタイムや体育委員会による各種運動の推進により、運動の楽しさや喜びを味わわせる。 ・大休憩と昼休憩に体を使った遊びや運動に取り組むことができたかを自己評価する週間を学期に1回設定し、取組を見直すことができるようにする。